

『東亜』2020年8月号目次 「特集：コロナ後の中国 生き残り戦略」

■特集 コロナ後の中国 生き残り戦略

* 中国の海洋攻勢 ―中国公船・漁船の動向とコロナ危機― 佐藤考一

* 新型コロナウイルス感染症と蘇州日系中小企業 植田浩史

* 新型コロナウイルス危機で米中摩擦の狭間に立つ EU

―中国の挑戦と米中情報戦を中心とした分析 Giulio Pugliese

■ASIA STREAM (2020年6-7月)

* 中国の動向 第2四半期でプラス成長に回復した中国経済 濱本良一

* 台湾の動向 香港版国家安全法は台湾へも影響 門間理良

* 朝鮮半島の動向 「市民運動家」大統領候補の自殺とセクハラ疑惑に衝撃 塚本壮一

■COMPASS

* 「一帯一路」の新プラットフォーム？

―第三国市場協力をめぐる中国の外交戦略 江藤名保子

* 一帯一路は「第二の悲劇」なのか？ 藤井大輔

* COVID-19 下で「和解」を探るロシア 小泉悠

* 財閥の経営権―世襲問題の行方― 高安雄一

■Book Review on Asia

* 『新型コロナ VS 中国 14 億人 (小学館新書)』(浦上早苗著) 嵯峨隆

■Briefing Room

* コロナがあぶり出す強権政治 吉野文雄

■CHINA SCOPE

* 日中食器雑考 勝又あや子

■チャイナ・ラビリンス

* 許章潤、現政権を厳しく批判 高橋博

■企画連載 香港における中国的価値観の受容と抵抗 (第5回)

* “離反”の経済的背景―政府・財界・市民の関係の変化― 曾根康雄

■巻頭言 香港国安法で落ちた中国の信用力 金子秀敏

■New Publications on Asia